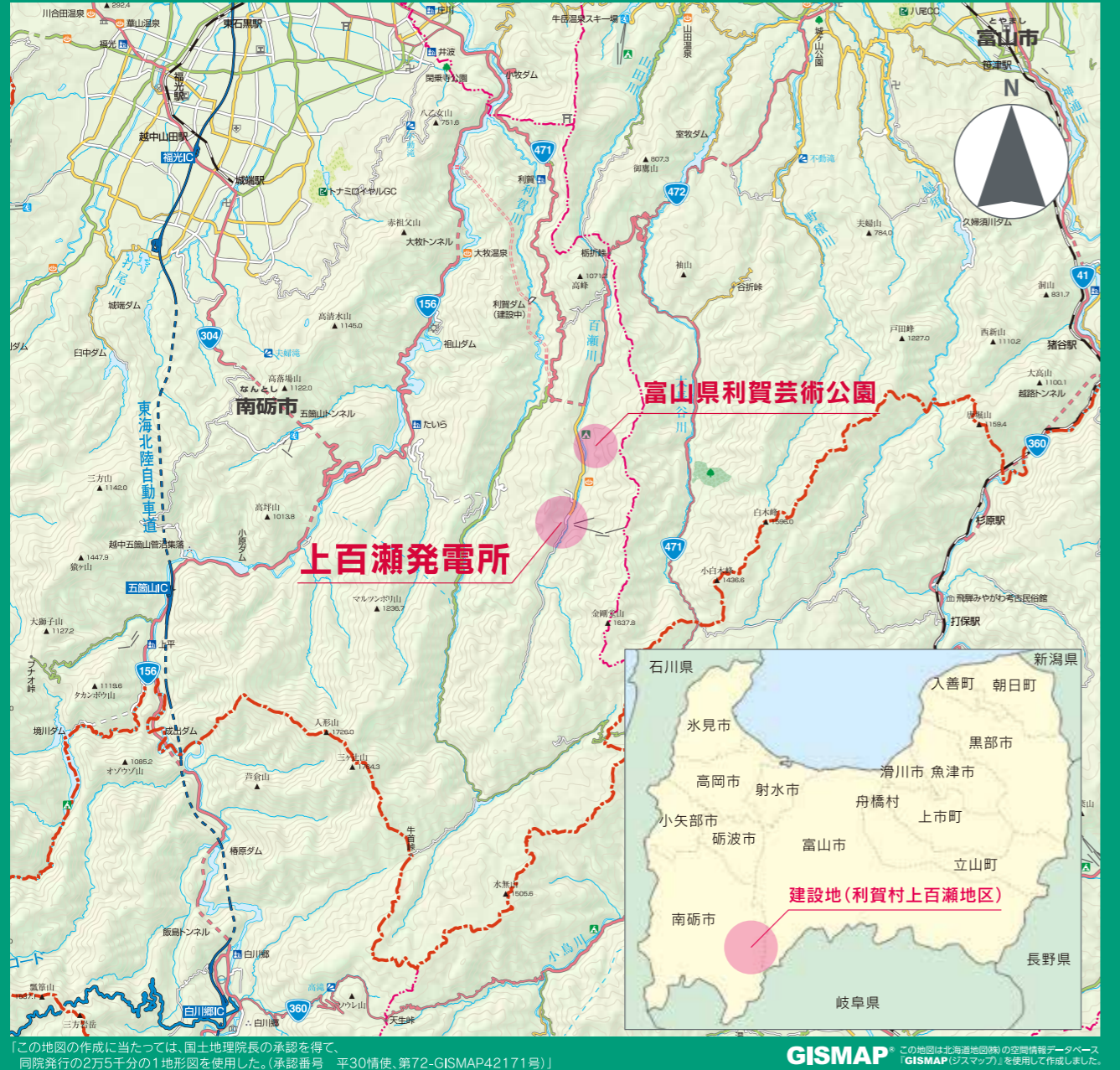


上百瀬発電所位置図



地球環境にやさしい再生可能エネルギー

かみももせ
県営 上百瀬発電所

PREFECTURAL
KAMIMOMOSE-HYDROELECTRIC
POWER STATION



平成 30年 9月 25日 竣工

南砺市利賀村周辺のご案内

富山県利賀芸術公園



富山県利賀芸術公園は、日本最大級の合掌造りの劇場、野外劇場など7つの劇場、稽古場、宿舍等を擁する世界に類をみない舞台芸術施設群です。雄大な自然の中、伝統文化が息づく創造環境を生かし、演劇を通じて、世界の人々と交流し、多くの人材を輩出している国際化した“場”です。劇団 SCOT の活動拠点として位置付けられているほか、多彩な事業が年間を通じて展開されています。

HP : <http://www.togapark.net/>

劇団 SCOT



SCOT (Suzuki Company of Toga) は、1976年(昭和51年)に東京から富山県利賀村(現南砺市利賀村)に拠点を移し、合掌造りの民家を改造した劇場を利賀山房と名づけて活動を始めました。その後、利賀村と協力して、野外劇場・稽古場・宿舍などを増設。利賀における SCOT の活動は世界の注目を集め、利賀村は一躍、世界の演劇人に聖地の一つと言われるようになりました。1982年には、日本で初めての世界演劇祭「利賀フェスティバル」を開催。毎年世界の舞台芸術家が利賀に集まり、スズキ・トレーニング・メソッドの訓練や作品づくりの稽古をしています。

富山県企業局

〒930-0094 富山県富山市安住町2番14号 TEL:076(444)2146
URL:http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/7104/index.html



百瀬川の未利用落差を有効活用した小水力発電施設

富山県では、「環境・エネルギー先端県」を目指し、平成26年には取り組みの指針となる「富山県再生可能エネルギービジョン」を策定し、本県の地域特性を活かした小水力発電や太陽光発電など再生可能エネルギーの導入促進に積極的に取り組んでいます。

企業局においても、従来より小水力発電所の建設を推進しており、この上百瀬発電所は、南砺市利賀村の上百瀬地内における百瀬川の未利用落差を有効活用した小水力発電所です。

【事業経過】

- 平成26年度 建設事業調査・実施設計
関係機関への説明・協議
- 平成27年 1月 水利使用許可申請（富山県）
- 平成27年 3月 固定価格買取制度の設備認定（経済産業省）
- 平成27年11月 工事計画書提出（経済産業省）
- 平成27年12月 7日に起工式（工事着手）
- 平成29年 豪雨災害発生（7月、10月）
- 平成30年 9月 25日に竣工式
- 平成30年12月 1日に運転開始

【諸元】

- 利用する河川 1級河川 神通川水系 百瀬川
- 最大使用水量 1.0m³/s
- 有効落差 81.50m
- 最大出力 670kW
- 水車型式 横軸フランシス水車
- 発電所位置 富山県南砺市利賀村上百瀬字上畑 地内
- 系統連系 6,600V配電線
- 導水路 地中埋設式 L=2,550m 内径=1.0m
- 年間可能 約370万kWh
- 発電電力量 [一般家庭約1,030軒が1年間に使用する電力量に相当]
- 事業費 約1,850百万円



水圧管路



内径1.0mのFRPM管を市道に埋設

発電所



周辺の景観にマッチし、5mの最大積雪深さを考慮

発電機



発電機電圧は配電線と同じ6.6kV定格とし、主変圧器を省略

水車



河川流量が変化しても高い効率で発電が可能なフランシス水車を採用

放水路



発電に使用した水を河川に戻す水路

発電に使用した水を集落の消流雪水として活用

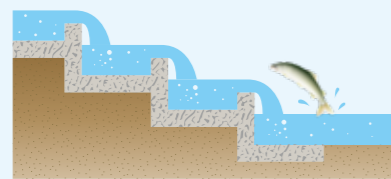
取水口



新たに取水堰を設け、維持放流用魚道・沈砂池・除塵機などを整備

【特徴】

魚類生息環境などに配慮



魚道



魚類の生息条件（水深及び流速）を考慮し、発電最大使用水量の30%に相当する毎秒0.3トンの維持流量を優先的に魚道から放流

魚の遡行を助ける階段式の魚道